

国語 I (Japanese I)	1 年・通年・3 単位・必修 5 学科共通 現代文担当：武田 充啓 古 典 担当：鍵本 有理	
[準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標] (3)		
<p>〔教育方法等〕 概要： 他者との相互理解や相互伝達を円滑なものにするために、理解力や表現力とそれらを支える思考力や感性を培う。また、言語文化への理解を深め、多様な価値観を知ることを通して、豊かな人間性を育む。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 高等学校第 1 学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、様々な文章を読み、多様な考えに触れる。自分が感じたり、考えたりしたことを口頭や文章によって表現する機会、クラスメイトの意見や考えに触れ、検討や議論を通して自分の考えを深める機会をもつ。週 3 時間のうち、2 時間を現代文、1 時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる</p> <p>注意点： 関連科目 国語の運用能力は、人文や社会科学系の科目ばかりでなく、自然科学系の科目の基礎にもなる。</p> <p>学習指針 授業中は発問を多くするので、積極的な発言や質問ができるよう準備しておくこと。 また、作文や創作の時間を有効に使えるように、日頃から問題意識を持って自分や自分の身の回りの世界に目を向けておくこと。2 週間に 1 回、漢字テストをする。</p> <p>自己学習 授業前に教科書の下読み、知らない言葉の下調べは必ず行うこと。プリント課題にも必ず取り組んでおくこと。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておく。そして、意味や訳のわからなかったところを授業で補い、ノートに記入するようにするとよい。</p>		
<p>〔教科書〕 「国語総合 改訂版」（第一学習社）</p> <p>〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧（新版三訂）」（第一学習社）、「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 『古典にいざなう新古典文法』（本編・準拠問題集 とともに大修館書店）、その他プリント（教員作成） ※ 国語辞典を一冊準備しておくこと（電子辞書でもよい）。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校 1 年生相当の漢字力や語彙力を身につけている。 2. 小説について、登場人物の心情の変化を読み取ることができる。また、自身の経験にひきつけて感想を述べることができる。 3. 評論文について、筆者の意見を的確に把握し、正確に要約することができる。また、筆者の意見に対して、自身の意見を、根拠をもって表現することができる。 4. 日本の伝統的な言語文化について興味・関心を持ち、その価値に気づくことができる。 5. 文語のきまり、漢文訓読のきまりを身につけている。 		
<p>〔評価割合〕 定期試験成績（65％）を基本とし、これに漢字テスト、課題・ノート提出、授業態度（音読・発表内容・取り組み姿勢など 35％）を加えて総合的に評価を行う。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標（現代文）	自己評価*	授業内容・方法	到達目標（古典）	自己評価*
前期	1週	ガイダンス 評論 1-①	山崎正和「水の東西」を読む。内容を叙述に即して的確に読み取る。		ガイダンス	ノートの取り方を工夫することができる。古典の表記について理解できる。	
	2週	評論 1-②	同上。生活の中にある日本文化に関心を持ち、考える習慣を身につける。		読書を楽しむ①	「兄のそら寝」を読む。歴史的仮名遣いで書かれた文章を読むことができる。	
	3週	評論 1-③	同上。具体例から抽象的見解へと進む論述の特徴をつかみ、要旨をまとめる。		読書を楽しむ②	「絵仏師良秀」を読む。文学史の知識を身につける。	
	4週	小説 1-①	芥川龍之介「羅生門」を読む。表現技法の効果を理解する。		物語を楽しむ①	「竹取物語」を読む。古典と外国文化との関連に関心を持つことができる。	
	5週	小説 1-②	同上。主題を考えることを通じて、人間の生き方についての考えを深める。		物語を楽しむ②	同上。基本的な古典単語についての知識と古典常識を身につける。	
	6週	小説 1-③	同上。芥川龍之介や日本の近代文学についての基礎的な知識を得る。		物語を楽しむ③	同上。古典作品の内容を読み取ることができる。	
	7週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	8週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		古典文法①	試験返却。理解が不十分な点を解消する。古典文法の知識を身につける（品詞）。	
	9週	評論 2-①	池内了「『文化』としての科学」を読む。科学の社会的役割について関心を持つ。		古典文法②	古典文法の知識を身につける（動詞の活用など）。	
	10週	評論 2-②	同上。時代を反映した評論を読み解き、多角的な視点を得て、思索力を養う。		古典文法③	古典文法の知識を身につける（形容詞・形容動詞の活用など）。	
	11週	評論 2-③	同上。論理的な文章の構成を理解し、要旨をまとめる。		古典文法④	古典文法の知識を身につける（助動詞の活用など）。	
	12週	小説 2-①	夏目漱石「夢十夜」を精読する。小説作品の理解を深め、面白さを味わう。		古典文法⑤	古典文法の知識を身につける（助動詞、注意すべき表現など）。	
	13週	小説 2-②	同上。作中人物の心理や述懐を丁寧に読み、作品の主題について考える。		漢文入門①	漢文訓読の基本的なきまりを身につける。	
	14週	小説 2-③	同上。夏目漱石や日本の近代文学についての基礎的な知識を得る。		漢文入門②	漢文の格言を読む。再読文字などのある漢文を訓読することができる。	
	15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	16週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
後期	1週	評論 3-①	高階秀爾「『間』の感覚」を読む。抽象的な評論文の文意を適切に把握する。		随筆①	「徒然草」の序段・九十二段を読み、文学史の知識を身につける。	
	2週	評論 3-②	同上。論の展開に注意して読み、筆者のものの見方・考え方を知る。		随筆②	引き続き九十二段を読む。作者の主張について説明することができる。	
	3週	評論 3-③	同上。生活の中にある日本文化に関心を持ち、考える習慣を身につける。		随筆③	同二百三十六段を読む。状況を理解することができる。	
	4週	小説 3-①	村上春樹「鏡」を読む。場面心情の変化を表現に即して味わう。		随筆③	同二百三十六段を読む。この話のおもしろさを説明することができる。	
	5週	小説 3-②	同上。作品の主題を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。		漢詩の鑑賞①	「江南春」「春曉」を読み、漢詩の知識を身につける。	
	6週	小説 3-③	同上。作品の構造や作者の工夫を正確に読み取り、小説の面白さを理解する。		漢詩の鑑賞②	「静夜思」「江雪」を読み、詩に込められた思いを読みとることができる。	
	7週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	8週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
	9週	評論 4-①	上田紀行「グローバリズムの『遠近感』」を読む。世界情勢について関心を持つ。		歌物語を読む①	「伊勢物語」の文学史的な知識を身につける。	
	10週	評論 4-②	同上。時代を反映した評論を読み解き、多角的な視点を得て、思索力を養う。		歌物語を読む②	「芥川」の章段を読む。助動詞の知識を実際に使うことができる。	
	11週	評論 4-③	同上。経済の世界的な一元化と人間の生き方との関係について理解を深める。		歌物語を読む③	「芥川」の章段を読む。内容を読みとり、正確に訳することができる。	
	12週	小説 4-①	志賀直哉「城の崎にて」を読む。主人公の心理や考えの移り行きを読み取る。		歌物語を読む④	「東下り」の章段を読む。文法の知識を活用することができる。	
	13週	小説 4-②	同上。緻密な構成や対の構造などに注意し、短編小説の特色や面白さを味わう。		歌物語を読む⑤	同上。和歌の技巧について理解することができる。	
	14週	小説 4-③	同上。志賀直哉や日本の近代文学についての基礎的な知識を得る。		歌物語を読む⑥	同上。当時の旅や生活について理解し、文法をふまえて訳することができる。	
	15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	16週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	

* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった。